

北陸地方の栽培品種

大原隆明(富山県中央植物園)

本日紹介する内容

A.北陸地方に特徴的な栽培品種のいろいろ

①菊咲き性品種群

②コシヒガン品種群

③二季咲き性品種群

B.北陸地方で多くの栽培品種が発達した背景

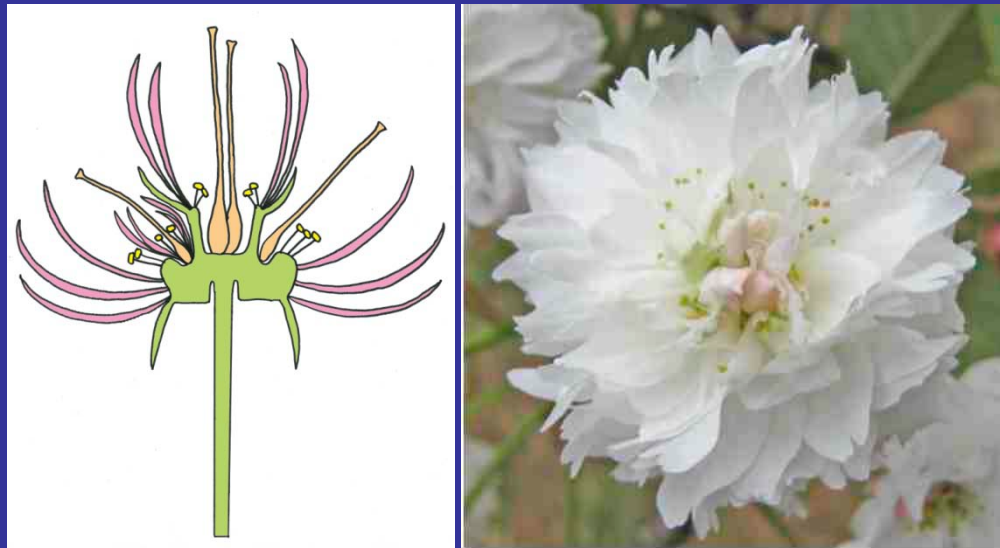
C.北陸地方の栽培品種を調査・保存する意義

① 菊咲き性品種群

1つの花の花弁が100枚におよび、
花形が半球形～球形となる品種群。

花托の隆起、雄しべの弁化、雌しべの
花への変化などの変異に起因。

過去に約30品種が報告されている
が、約半数は北陸地方産。



例：ゼンショウジキクザクラ

過去に学名が与えられているサクラ属 (*Prunus*) の菊咲き性品種

和名	学名	記載時の原木の所在地
ヒナギクザクラ	<i>P. apetala</i> var. <i>pilosa</i> 'Multipetala'	新潟県
フジキクザクラ	<i>P. incisa</i> 'Fuji-kikuzakura'	山梨県
アギシコギクザクラ	<i>P. jamasakura</i> 'Agishi-kogikuzakura'	石川県
シラギクザクラ	<i>P. jamasakura</i> 'Capitata'	新潟県
ケタノシロキクザクラ	<i>P. jamasakura</i> 'Haguiensis'	石川県
ヒウチダニキクザクラ	<i>P. jamasakura</i> 'Hiuchidani-kikuzakura'	石川県
コノハナザクラ	<i>P. jamasakura</i> 'Konohana-zakura'	京都府
キクザキヤマザクラ	<i>P. jamasakura</i> 'Longipes'	京都府
ライコウジキクザクラ	<i>P. jamasakura</i> 'Raikouji-kikuzakura'	石川県
ゼンショウジキクザクラ	<i>P. jamasakura</i> 'Zenshoji-kikuzakura'	石川県
キクザクラ	<i>P. lannesiana</i> 'Chrysanthemoides'	岡山県
バイゴジジュズカケザクラ	<i>P. lannesiana</i> 'Juzukake-zakura'	新潟県
キナシチゴザクラ	<i>P. lannesiana</i> 'Kinashi-chigozakura'	香川県
ヒヨドリザクラ	<i>P. lannesiana</i> 'Longipedunculata'	石川県
オオムラザクラ	<i>P. lannesiana</i> 'Mirabilis'	長崎県
ナジマザクラ	<i>P. lannesiana</i> 'Multipetala'	石川県
ニソンインフゲンソウ	<i>P. lannesiana</i> 'Nison-in'	京都府
オオタザクラ	<i>P. lannesiana</i> 'Ohta-zakura'	岐阜県
ククシダレ	<i>P. lannesiana</i> 'Plena-pendula'	岩手県
フクザクラ	<i>P. lannesiana</i> 'Polycarpa'	石川県
サクナミキクザクラ	<i>P. lannesiana</i> 'Sakunami'	宮城県
コギクザクラ	<i>P. lannesiana</i> 'Singlaris'	広島県
ケンロクエンキクザクラ	<i>P. lannesiana</i> 'Sphaerantha'	石川県
スイショウ	<i>P. lannesiana</i> 'Suisho'	宮城県
ツクバネ	<i>P. lannesiana</i> 'Tsukubane'	京都府
ゴクラクジザクラ	<i>P. leveilleana</i> 'Gokurakuji-zakura'	兵庫県
タイザンフクン	<i>P. miyoshii</i> 'Ambigua'	東京都
フトヤエヒガン	<i>P. miyoshii</i> 'Futo-yaehigan'	石川県
ホウキザクラ	<i>P. miyoshii</i> 'Miyoshii'	東京都
ショウエイジ	<i>P. miyoshii</i> 'Shoeiji'	長野県
クシロヤエ	<i>P. sargentii</i> 'Kushiro-yae'	北海道

能登半島の菊咲き性品種

‘ケタノシロキクザクラ’



‘ライゴウジキクザクラ’



‘アギシコギクザクラ’



‘ゼンショウジキクザクラ’



‘ヒウチダニキクザクラ’



‘ヒヨドリザクラ’



金沢の菊咲き性品種

‘ケンロクエンキクザクラ’



‘フクザクラ’



‘ナジマザクラ’



富山県の菊咲き性品種群②

ニューゼンオトメキクザクラ



②コシノヒガン品種群

御旅屋太作が1929年に富山県の高岡古城公園のものを発見、Koidzumi (1932)が富山県南砺市蛭山の自生品をタイプとして、*Prunus koshiensis* として記載。

その後、分類学的扱いに混乱がみられたが、現在ではキンキマメザクラとエドヒガンの交雑種として扱われる。

花の特徴：がく筒が筒状で、基部が膨らむ。

自生状態では富山県中西部のみで見出されている。

キンキマメザクラ



エドヒガン



コシノヒガン

コシヒガン自生品



南砺市蠟山①



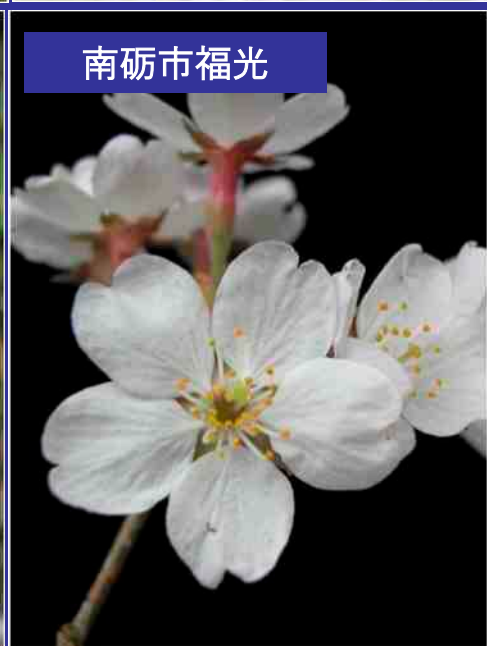
南砺市蠟山②



砺波市



南砺市福光



③ 二期咲き性品種群

開花のピークが晩秋と春の2回あり、冬にも多少開花する品種群。

過去に約10品種が報告されている。広く栽培されるのは4品種。北陸地方からは2品種の報告。

マメザクラやエドヒガンの影響を受けたものが多いが、系統は多様。

‘フユザクラ’



‘シキザクラ’



‘コブクザクラ’



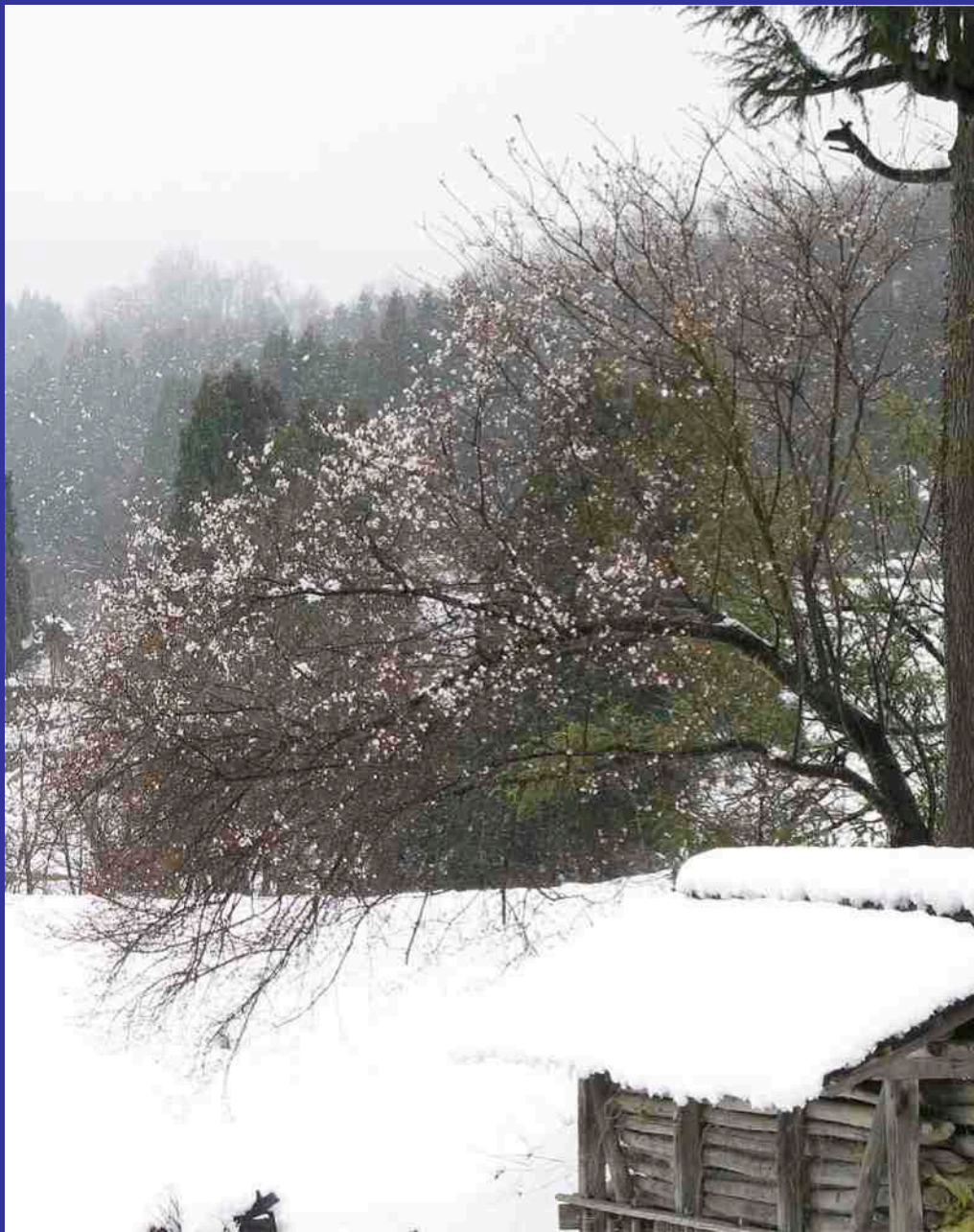
‘ジュウガツザクラ’



サクラ属 (*Prunus*) の二期咲き性品種

和名	学名	記載時の原木の所在地
コブクザクラ	<i>P. x kobuku-zakura</i>	静岡県
フユザクラ	<i>P. x parvifolia</i> ‘Parvifolia’	東京都
ジュウガツザクラ	<i>P. x subhirtella</i> ‘Autumnalis’	東京都
ホザキヒガンヤエ	<i>P. x subhirtella</i> ‘Hozaki-higan-yaezakura’	新潟県
シキザクラ	<i>P. x subhirtella</i> ‘Semperflorens’	不明
フダンザクラ	<i>P.</i> ‘Fudanzakura’	三重県
ケンロクエンフユザクラ	<i>P.</i> ‘Kenrokuen-fuyuzakura’	石川県
コハルビ	<i>P.</i> ‘Koharubi’	群馬県
アーコレード	<i>P.</i> ‘Arcolade’	イギリス
シキザキチョウジザクラ	<i>P.</i> ‘Shikizaki-chojizakura’	岐阜県

‘コシノフユザクラ’



名称公募中品種



北陸地方で独自の栽培品種が発達した理由

① 野生種数が多い

- ・全12種中の7種が分布。
- ・栽培品種の「材料」が豊富。

② 歴史的背景

- ・古くから他地域よりの導入があった？
ex.「松月寺の大桜」(金沢市)
 - ・京都や江戸から比較的近距離。
 - ・加賀百万石
 - ・富山の売薬

③ サクラの調査・研究者が多い

- ・長基健治(1889～1985)
- ・加茂善治(1892～1976)
- ・木村久吉(1923～)
- ・とやまさくら守の会(2007～)



北陸地方の栽培品種を調査・保存する意義

①園芸素材としての利用

一見似た品種でも性質が異なれば残す価値がある

②遺伝資源の保全

耐雪性のある栽培品種の育成
菊咲き性品種などの育成

③「生きた文化財」の継承

現存する栽培品種は、その土地の風土特性や美意識などの文化背景により成立した「生きた文化財」

今後は...

- ・園芸的価値の高い在来栽培品種の「発掘」調査
- ・分子学的手法を用いた系統調査
- ・増殖方法の研究